

全鉄連流通動態調査結果表 平成26年10月分

(26.10.29)

全国鉄鋼販売業連合会

品 種	地 区	前月在庫量		仕入量		販売量		当月在庫量		
		9月実績	前月比	10月実績	前月比	10月実績	前月比	10月実績	前月比	
異形棒鋼	東京	10,307	105.9%	70,496	111.7%	71,472	114.3%	9,331	90.5%	
	大阪	6,422	95.2%	26,223	98.2%	27,275	100.9%	5,370	83.6%	
	愛知	6,943	91.9%	3,272	118.6%	3,952	117.1%	6,263	90.2%	
	計	23,672	98.5%	99,991	108.0%	102,699	110.5%	20,964	88.6%	
形鋼	山形鋼	東京	19,948	103.8%	11,038	96.7%	10,896	101.9%	20,090	100.7%
		大阪	21,735	98.6%	11,416	106.3%	11,810	106.8%	21,341	98.2%
		愛知	12,272	96.8%	7,207	117.8%	6,819	104.4%	12,660	103.2%
		計	53,955	100.0%	29,661	104.9%	29,525	104.4%	54,091	100.3%
	溝形鋼	東京	18,029	106.2%	5,544	69.2%	6,992	100.5%	16,581	92.0%
		大阪	13,680	104.3%	6,709	86.3%	7,162	99.3%	13,227	96.7%
		愛知	8,109	98.5%	5,437	110.2%	5,287	104.5%	8,259	101.8%
		計	39,818	103.9%	17,690	85.4%	19,441	101.1%	38,067	95.6%
	H形鋼	東京	28,811	96.2%	15,553	95.4%	16,907	96.9%	27,457	95.3%
		大阪	41,167	102.0%	32,134	107.9%	32,313	111.5%	40,988	99.6%
		愛知	23,707	100.3%	14,832	115.0%	15,010	117.1%	23,529	99.2%
		計	93,685	99.7%	62,519	106.0%	64,230	108.4%	91,974	98.2%
合 計		187,458	100.6%	109,870	101.8%	113,196	106.0%	184,132	98.2%	
コ ラ ム	東京	8,344	99.4%	2,382	86.3%	3,351	119.4%	7,375	88.4%	
	大阪	8,191	104.3%	5,654	100.5%	5,005	94.7%	8,840	107.9%	
	愛知	2,303	101.4%	2,735	110.6%	2,815	115.3%	2,223	96.5%	
	計	18,838	101.8%	10,771	99.2%	11,171	106.1%	18,438	97.9%	
軽量C形鋼	東京	3,870	100.0%	2,412	93.4%	3,055	118.3%	3,227	83.4%	
	大阪	3,773	99.2%	1,977	82.3%	2,315	95.2%	3,435	91.0%	
	愛知	2,594	95.8%	1,237	101.2%	1,472	110.3%	2,359	90.9%	
	計	10,237	98.6%	5,626	90.6%	6,842	107.7%	9,021	88.1%	
総 計		240,205	100.4%	226,258	104.0%	233,908	108.0%	232,555	96.8%	

(注) ①単位トン ②調査対象企業 東京32 大阪21 愛知15 合計68社

※この資料は経済産業省、鉄流懇関係者、報道機関のみ配布しています。

【調査内容変更について】

昭和48年4月より開始された本調査は、平成12年4月実績発表まで27年間同一フォーム内容で実施され、鋼材二次流通の実態を表す資料とされていた。しかし、この間に調査品目の中には流通性がなくなった品種、また、未調査品種ながら、市場性が高い品種など鋼材市場においてさまざまな品種の盛衰があった。そこで全鉄連常任理事会において、本調査の見直しを提議された。そして、平成12年5月分実績より従来の流通動態調査を改訂し、上記のとおり発表することとなった。

その変更内容は①調査対象品種にコラムを追加②調査対象品種よりブレン、不等辺山形鋼、I形鋼、デッキ・キーストンを除外する③契約残調査を取り止める、以上3点である。また、本調査を「特約店流通動態調査」と称していたが、これを「全鉄連流通動態調査」と呼称変更した。これは調査機関である当会が全国鉄鋼販売業連合会に名称変更したことによる。また、平成13年5月実績をもって調査対象品種変更後1年が経過した。この間、暫定的な数量をもって時系列表及びグラフを作成していたが、それを改め月表の数値と一致するように改訂した。